

## CO要精検

視診を中心とした診査で隣接面などにおいて  
う蝕が疑われ精密検査を要する場合



## COの改善例



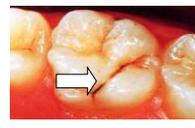
明瞭な白濁



白濁は消退(7年後)

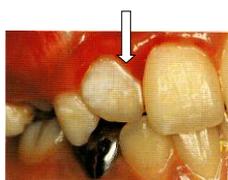


裂溝に着色

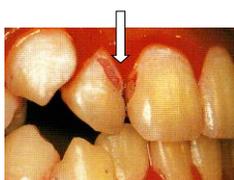


着色は改善 (8年後)

## COの進行例



白濁



う蝕へと進行

## COの事後措置

健全歯として扱い、  
治療勧告を行わない

保護者にはお知らせをする  
(家庭での生活習慣の改善)

## COの事後措置

### 保健指導

可能な限り学校で対応

(養護教諭・学級担任等)

### 個別指導？集団指導？

リスクに応じ行う

## COの事後措置

経過観察      う蝕の進展の有無を確認

予防処置      フッ化物応用

臨時健康診断      軟化象牙質が認められたら、直ちに  
受診を勧める

## COの事後措置

### 注意点

- 1) **隣接面う蝕**の確認が極めて困難な場合は、**CO要精検**とし精密検査(受診)を勧める
- 2) **かかりつけ歯科医とのCOに対する共通の理解**が必要
- 3) **指導者間の共通理解**が不可欠。そして、**家庭との連携、学級担任の適切な指導**が必要

## COの検出基準等の変更

改正前	改正後
精密検査を要するう蝕病変のあるもの(隣接面)。  学校歯科医所見欄に「 <b>CO要精検</b> 」と記入	<b>隣接面や修復物下部の着色変化、アヤイ(小窩裂溝の褐色・黒色などの着色や白濁、平滑面の白色や褐色)の状態が多数認める場合等、地域の歯科医療機関と連携が必要な場合。</b>  学校歯科医所見欄に「 <b>CO要相談</b> 」と記入

## 判定基準等の変更

改正前	改正後
1(要観察)	<b>1(定期的観察が必要)</b>
2(要精密検査)	<b>2(専門医(歯科医師)による診断が必要)</b>

判定2に関しては対応として  
**個別相談・健康相談を重視**

受診の必要はありません。  
今回の健康診断では特に問題は見つかりませんでした。これからもこの状態を保つために家庭でも歯みがきや食生活に注意し、歯・口の健康づくりをお願いします。

**経過観察が必要**です。家庭や学校で経過をみていきましょう。  
症状が進行するようなら歯科医師に相談されることをお勧めします。  
□あごの関節 □咬合(噛み合わせ) □歯列(歯ならび)  
□歯垢(歯の上のこけ)の付着 □歯肉(歯ぐき)に軽度の炎症(GO)がみられます。  
【お口の健康が不十分です。ていねいな歯みがきと食生活に気をつけて、改善をはかってください。】  
□家職察者(CO)があり、初期の兆候が認められ、放置しているとむし歯になる可能性があります。  
【ていねいな歯みがきや、食生活に気をつけて家庭でも様子をおみてあげてください。】

歯科医師を受診し、治療が必要か相談されることをおすすめします。  
□あごの関節 □咬合(噛み合わせ) □歯列(歯ならび) □歯垢 □歯肉炎 □歯石沈着  
□むし歯 □むし歯の疑いのある歯(精密検査を必要とする歯CO要精検)  
□歯肉炎(永久歯や歯ならびに影響を及ぼすおそれのある乳歯があります)。  
□その他( )

注意事項  
噛み合わせ、歯ならびの治療(矯正)に関しては、特別な場合を除き健康保険の適用が受けられません。

## 学校での健康診断とGO

健全	現在特に問題なく、その状態の保持増進を図る
GO	<b>歯石沈着の無い軽度の歯肉炎</b> 。臨時健康診断と個別指導によりGへの進行防止
G	<b>歯石沈着のある歯肉炎</b> 、又は歯周炎(疑い)で <b>受診勧告</b>
ZS	Gとせず、ZSで <b>受診勧告</b>

## GO(歯周疾患要観察者)

- ・歯肉に**軽度の炎症**症状が認められるが、健康な歯肉の部分も認められる
- ・歯垢の付着は認められるが**歯石の沈着が無い**
- ・**歯の清掃指導、注意深いブラッシング**によって**炎症症状が消退**するような歯肉の保有者

## G

- ・歯科医師による診断と治療が必要な歯周疾患を持つ者
- ・**歯石沈着を伴う歯肉炎**を持つ者
- ・歯周炎、増殖性歯肉炎が疑われ精密検査と処置を必要とする者



広範囲の重度歯肉炎



歯石沈着

## ZS(歯石沈着)

**歯石沈着があるが歯肉に炎症のない**者はGとせず、学校歯科医所見欄にZSと記入し**受診を指示**する



不潔によるGO

歯列不正による部分的なGO

萌出期のGO

## GOの改善例

GO

改善後



下顎前歯部が赤く腫脹



3カ月ブラッシングを続け、良好な状態

## GOを改善する意義は

歯石をともしなわなない歯肉炎(GO)は  
**プラークを除去すれば治癒**する



**治癒には適切な保健指導が大切**

- ・正しいブラッシング方法・回数・時間などの習得
- ・食生活を含む生活習慣の改善

**GOは保健教育のための良い題材**

## GOの事後措置

**治療勧告を行わない**

**保護者にはお知らせをする**  
(家庭での生活習慣の改善)

## GOの事後措置

**保健指導** 正しい歯磨きの方法・食習慣・睡眠などの生活リズムを規則正しくし、基本的な生活習慣の確立

**個別・集団指導** 子どもたちのリスク状態により、グループ分け

**定期的観察** 3～6ヵ月後再診査を行い、改善がみられない場合は、治療勧告を行い受診を勧める